

津波警報が出た際にご利用ください。

大津波を想定した避難場所と避難経路

市営新川住宅



避難経路	1分	→	ニューリバー73(5階)
	20m		海拔約2.1m
新川住宅(5階)			
海拔約2.1m	5分	→	アーバンブレイム新川(9階)
	200m		海拔約2.1m

・避難場所	新川住宅、ニューリバー73、アーバンブレイム新川	
・避難経路	避難ビル3階以上への避難	
・避難に要する時間	ニューリバー約1分 アーバンブレイム新川 約5分	
・距離	アーバンブレイム新川 約200m	
・海拔	新川住宅 ニューリバー73 アーバンブレイム新川	約 2.1m
・避難経路の注意事項	1次避難後の状況により2次避難の方法が変わります。行政機関、自治会の指示に従って避難してください。	

津波避難をする際、気をつけること

- (1)身のまわりの安全 まず、我が身の安全を考えましょう。(自分がけがをしては、避難できません。)
- (2)高台(地図で示した場所)までの避難 避難経路が建物倒壊等で塞がっていることもありますので、臨機応変に対応しましょう。また、高台へ到着した後、身体の安全を確保し、さらに高い場所への避難を心がけましょう。
- (3)車による避難の禁止 車は事故等により渋滞し、津波に巻き込まれる危険性が高いので控えましょう。
- (4)財産の保全や持ち出し まず、身体の安全を最優先に考えましょう。
- (5)避難で引き返さない 貴重品を取りに戻って津波に巻き込まれた人もいますので、やめましょう。
- (6)避難指定ビル等への避難 津波で浸水が始まったら、高台への避難はせずに、市が指定する避難指定ビル等に避難しましょう。やむを得ない場合は、海岸に面する前面のビルより、2列目、3列目の建物に避難しましょう。

・連絡先 住宅課 電話097-537-5977

作成 大分市土木建築部住宅課

平成25年10月